

# 競 技 注 意 事 項

1 本大会は2015年度日本陸上競技連盟規則および本大会要項に従って行う。

2 選手の招集について

- (1) トラック競技の招集場所は、100mスタート後方に設ける。
- (2) 招集開始時刻および招集完了時刻は、全てその競技の開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	15分前
フィールド競技	45分前	30分前
棒高跳のみ	60分前	45分前

(3) 招集方法

- ・点呼は必ず時間を守り、本人が行くこと。
- ・招集完了時刻に遅れた選手は、当該競技種目を棄権したものとみなす。

<トラック競技>

- ・競技者係のところに行き自分のナンバーカードを見せ、自分の種目・組・レーン・氏名を伝え、出場することを競技者係に伝え確認を受ける。
- ・点呼が終了しても、勝手に移動せず、競技者係の指示に従う。

<フィールド競技>

- ・競技の進行に注意し、所定の通路より各競技場所に時間までに集合する。
- ・競技場所において、審判員に点呼を受ける。
- ・点呼が終了しても、勝手に移動せず、審判員の指示に従う。

<混成競技>

- ・上記のトラック競技、フィールド競技の要領と同じとする。

3 トラック競技について

- (1) 各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後の不正スタートした競技者は全て失格とする。
- (2) 同種目でも、組によって点呼時間が異なるので注意する。
- (3) トラック競技の出場者は、スタート前に出発係より腰ナンバーカードを借り受け、短パン右腰やや後ろにつける。フィニッシュ後、係の指示に従い返却する。
- (4) 事故防止のため、短距離ではフィニッシュ後も自分のレーン（曲走路）を走る。
- (5) リレーのオーダーは次のように提出する。

## 各ラウンドの1組目の招集終了時刻の60分前まで

- (6) トラック競技の準決勝・決勝の走路順は本部において抽選決定し、競技者招集所に掲示する。
- (7) トラック競技のプラスアルファが、規定数より多いときは本部にて抽選とする。
- (8) 男女800m、男3000mは安全面を考慮して階段スタートで行う。
- (9) 男女800m、1500m決勝は、16名で行う。
- (10) 男子3000m決勝は、タイムレースで行う。（人数によってはグループスタートを行う）

4 フィールド競技について

- (1) 走高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。  
男子 走高跳（練習1m25） 1m30（以後5cm上げ） 1m55以後3cm上げとする  
男子 四種 走高跳（練習1m15） 1m20（以後5cm上げ） 1m45以後3cm上げとする  
女子 走高跳（練習1m10） 1m15（以後5cm上げ） 1m35以後3cm上げとする  
女子 四種 走高跳（練習1m05） 1m10（以後5cm上げ） 1m30以後3cm上げとする
- (2) 棒高跳びのバーの上げ方は次の通りとする。  
（練習2m00） 2m00 以後10cm上げとする。  
※最初の高さを変える場合もある。
- (3) 走幅跳と砲丸投については予選通過ラインは、下記のとおりとする。  
男子 走幅跳 4m80  
女子 走幅跳 4m20  
※予選通過者が、12名に満たない場合は、記録の上位12名までが決勝へ進出する。（12番目の記録が同記録の場合は、セカンド記録で決定する。）

5 その他

- (1) 学校対抗とする（得点は1位 8点、2位 7点…… 8位 1点）。男女別3位まで、総合6位まで表彰する。
- (2) 8位までの入賞者には賞状を授与し、3位までの入賞者にはメダルを授与する。（3位までは表彰を行う。4位以下は本部にとりこくる）
- (3) 表彰は決勝終了後ただちに行うので、3位までに入賞した選手はそのまま本部前に集合すること。他の種目と重なって出られないときは代理の者を出すこと。
- (4) 選手以外の者は、絶対、競技場内に立ち入らないこと（特に本部前は通行禁止）。
- (5) 自分のごみは、持ち帰ること。
- (6) 競技者としてまた中学生として恥ずかしくない行動をとること。
- (7) 引率教員には競技役員をお願いします。役員ができない場合は選手の参加を認めない場合もあります。
- (8) 1500mで周回遅れになった競技者には、競技を中止させることもある。3000mでは、先頭の走者が2600mを通過する前に周回遅れになった選手には、競技を中止させることもある。ただしプラスアルファに支障を来す場合は、この限りではない。